



NEWS RELEASE

2019年3月11日

各位

株式会社フォーバル

代表取締役会長 大久保 秀夫 「政治起業家グランプリ」を受賞！！

企業経営を支援する次世代経営コンサルタント集団である株式会社フォーバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中島 将典、以下「フォーバル」）の代表取締役会長である大久保 秀夫が、「政治起業家グランプリ」を受賞し3月10日になかのZEROで受賞式&記念講演が行われました。



「政治起業家グランプリ」は、政治や社会の在り方を変えるため、法律・組織・情報などの問題の解決と現状の変革に取り組む人物を「政治起業家」と定義し、主催であるデモクラシー2.0 イニシアティブを中心に半年間のフィールド調査の結果、最も優れた活動をした政治起業家をグランプリとして表彰するものです。

【グランプリの審査基準】

「原体験」

自分の経験が生きるか。

自分やステークホルダーのノウハウ・技術・インフラ等が活用されているか。

「社会性」

誰のために何をどうしたいのか。

世の中から必要とされていると感じるか。

社会的意義を訴求できているか。

「ポリティカルインパクト」

公的・政治分野から必要とされているか。

公的意義がどれくらいあるか。

「実現可能性」

実現・持続可能な仕組み、計画になっているか。

公的意義や社会ニーズを捉えた内容になっているか。

「ソーシャルインパクト」

新しい世界観を提供できているか。

活動を通じて、新しいあたりまえを創り出しているか。

大久保 秀夫は、1980年のフォーバル創業以来、「For Social Value」の名のもと、通信革命を含む真の社会価値創造を実現し続けてきました。

また、公益財団法人 CIESF（シーセフ）を立ち上げ、カンボジアにおける教員養成を中心に人材育成に大きく貢献してきました。

その他にも、一般社団法人公益資本主義推進協議会を立ち上げ、諸外国から真に尊敬される日本づくりを目指し、社会性を重視した持続的な経営を実践できる経営者の育成に取り組み、「三方よし」「和を以て貴しとなす」「吾足るを知る」など古くから日本に根付く経営の考え方を世界に発信し続け、資本主義の変革に取り組んできました。

今回、このような活動が評価され「政治起業家グランプリ」の受賞となりました。

フォーバルは、今後とも社会貢献活動に積極的に取り組んでいきます。

デモクラシー2.0 イニシアティブについて

田坂 広志 氏（多摩大学大学院教授、シンクタンク・ソフィアバンク代表、社会起業大学名誉学長）が代表発起人となって設立された、すべての草の根の人々が新たな社会づくりに参加する「参加型民主主義」を実現し、民主主義のさらなる進化と深化をめざす、ソーシャル・ムーブメントです。

フォーバルについて

企業経営を支援する次世代経営コンサルタント集団であるフォーバル（資本金：41 億 50 百万円、東証一部上場【証券コード：8275】）は、中小・中堅企業を対象に「情報通信分野」「海外分野」「環境分野」「人材・教育分野」の 4 分野に特化したコンサルティングサービスをコアビジネスとしています。

詳しくは、ホームページ（<https://www.forval.co.jp/>）をご参照ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

フォーバル

広報室

山田 晃之、萩原 啓一、空 義博

TEL：03-6825-3407